

事業所名

☆（すたあと）

支援プログラム

法人（事業所）理念		☆（すたあと）。スタートとは出発や物事を始める、合図の言葉という意味があります。そんな“きっかけ”をコンセプトにしています。新しいことを始めたいけど、踏み出す勇気が湧かない。誰かに頼るのはちょっと…自分のやりたいことが見つからなくて悩んでいる…人を変えられるのは「人」とだと思います。“きっかけ”は何でもOK！人と人との出会いを大切に、信頼できるパートナーを目指し、利用児（者）様を笑顔にしたいと考えています☺
支援方針		”見たい” “知りたい” “やってみたい” の意欲を大切に自発性・主体性を伸ばしていく事 まずは利用児（者）の気持ちを受け止め、見守り、認めてあげる。 助けてあげたい気持ちをグッとこらえ見守ることで 1つずつ考え、身に付けていくことで自信を持ち、成長に向かっていくと考えています。
		支 援 内 容
五 領 域	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓や衣服の着脱・食事・排せつ等、生活に必要なスキルの向上 ・クッキングを取り入れ一緒に作る・食べる・片付けをする ・病気の予防（手洗い・うがい・歯磨き） ・危険な遊び方、避難訓練や災害時の訓練や対応の仕方 ・タイムスケジュールの中で生活のリズムを身に付ける
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる姿勢の保持や運動や筋力の維持、強化・動作の改善や取得を体操やダンススポーツを通して学ぶ ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用出来るようにゲームやクイズを取り入れる ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行う（感覚過敏や鈍麻）
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックや立体の創造物を使った創作活動 ・物の機能や属性、形、色、音 等、概念の形成を図り認知や行動の手がかりになるように支援する ・情報を適切に処理できるようサポートを行い認知の偏りや個々の特性に配慮する ・音楽やリズムを使って五感を刺激する活動 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や、適切行動への対応支援
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・指差し、身振り、サイン等を用いて意思の伝達の支援を行う ・生活の中で起こる事柄についてロールプレイングを取り入れ、場面におけるコミュニケーション能力の向上 ・考えを発表したりプレゼンテーションを取り入れ、具体的な物事や体験と言葉の意味のを結びつけることで言語の取得、自発的な発声を促す ・話し言葉や文字、記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたり、言語を受容し表出する支援を行う
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや模擬店等、遊びを通して物事を最後までやり遂げる達成感を得る ・職員や友達と関係を深め、喜び・悲しみや感情を共感し合い愛情や思いやりを身に付ける ・病気の予防（手洗い・うがい・歯磨き） ・危険な遊び方、避難訓練や災害時の訓練や対応の仕方 ・タイムスケジュールの中で生活のリズムを身に付ける